



2026年度 第2回 3級審判インストラクターリフレッシュ講習会レポート

指導者の意識向上

講習会の様子をお届けします

日時：2026年7月12日

開催場所：みきぼうパークひょうご会議室

みきぼうパークひょうごフットサル場

(一社) 兵庫県サッカー協会審判委員会

指導者部

HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

3級審判インストラクターリフレッシュ講習会とは

インストラクターとして資格を維持するためには、今年度より、2年間で10ポイントの取得と必須講習会を受講しなければなりません。そのため、講習会を開催して受講していただくための制度です。

今回はプラクティカルトレーニングをテーマに開催しました。

開校式 & 講習会スタート

新たな知識習得と技術向上を目指して

HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

講習会スタート

講師陣からの挨拶

エデュケーターと講師からの趣旨説明

講師紹介

本日の講師と参加スタッフの紹介

4名の受講生が参加 概要説明

本講習会は、審判インストラクター資格の更新に必要なリフレッシュポイント(10ポイント)を取得できる講習会を説明。現場での審判指導スキルの習得とアップデートを目指します。



セッション開始

審判員の「オフサイドの判断力」を養うための、実技トレーニングの組み立て方と指導法を学ぶ。現場で即使える指導スキルのアップデートを目指します。

午前は実技に備えそのための講義後、実技開始

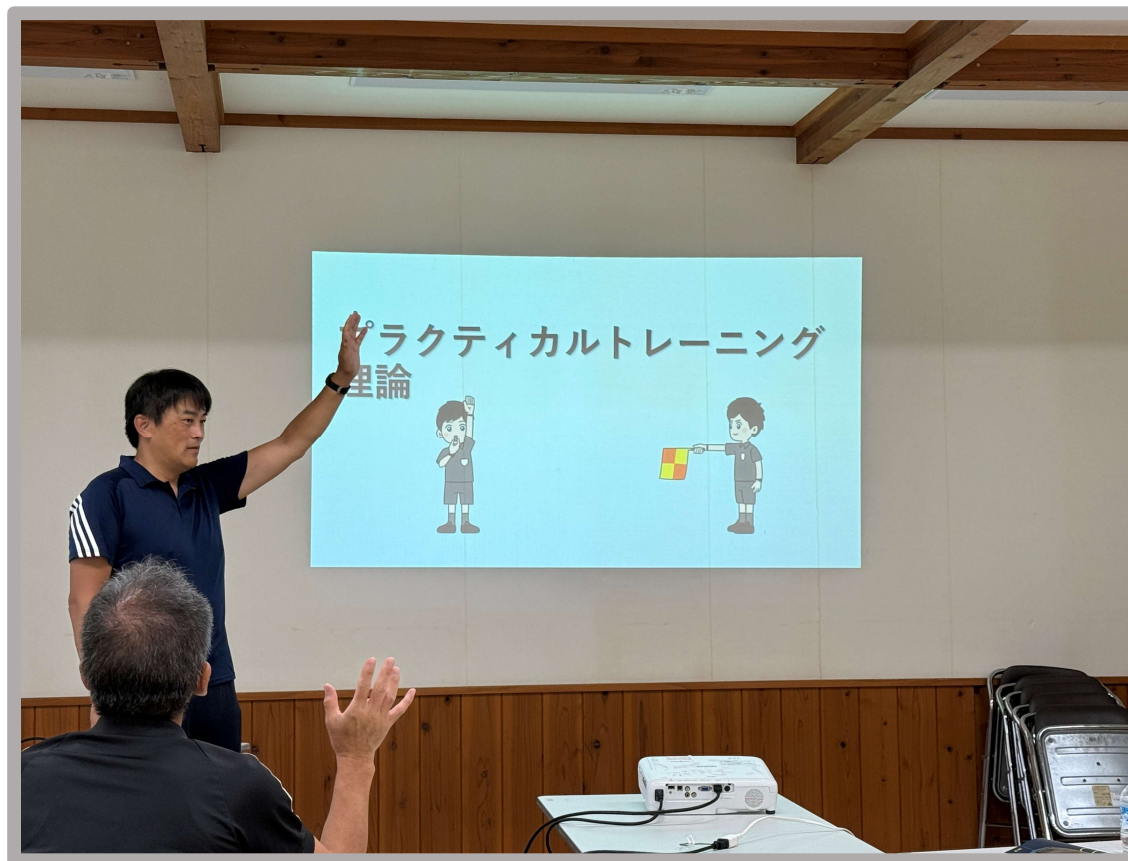
講義

指導者部長による講義

内容：オフサイド解釈の整理、事象の分析

目的：副審の事象の正確な見極めと判断力の向上・主審・副審の連携(協調)の強化

方法：映像や事例を用いた座学形式とプラクティカルトレーニングのプランニングシート作成方法



活発な意見・質疑応答

講義では、映像を用いて「オフサイド」をどう判断するか、また、「オフサイド」か「ノットオフサイド」かの判断を受講生の皆様と共有し発言をいただきました。



真剣な眼差しと有意義な対話

受講生一同がメモを熱心にとり、講師の説明を一言も聞き漏らさないように取り組む姿が見られ、実のある学びの場が共有されました。



HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

プラクティカルトレーニング

「オフサイドをテーマに審判員の正確な判断」ができるように実技にて指導方法を学ぶ

■ プラクティカルトレーニング開始



HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

テーマ「オフサイド」



受講生のみなさん

講師の説明に真剣に耳を傾け、「さあこれからだ」と意気揚々なのか緊張なのか
...



- ・ デモンストレーターのみさん

ご協力をありがとうございました。



- ・ デモンストレーターへの仕込み

受講生の視線は、デモンストレーターの表情ひとつに完全に釘付け。「自分の狙いが伝わるか」を確かめようとする、純粹で鋭い執念が宿っています。

ちょっと緊張！！





- オフサイド判定のトレーニング

副審の判断。

エラーが起きやすいプランニングが必要。



審判員の皆様

HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

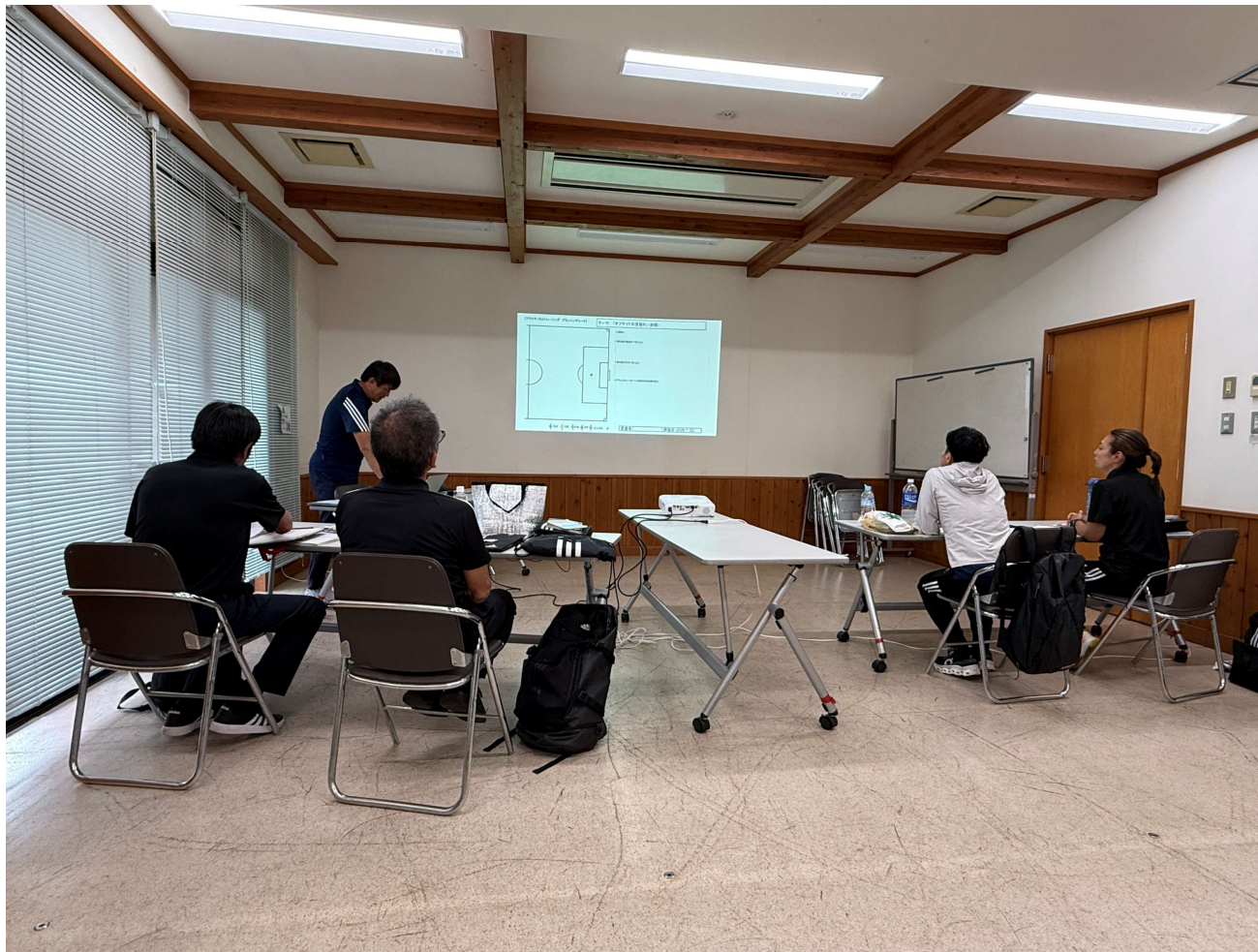
審判員へのまとめ

受講生が審判員に対し、どう見極めて判定したか。その「判定のプロセス」を言葉として、客観的な事実と照らし合わせることで、副審の見極め力とポジショニングの精度を劇的に向上させる指導へとつなげます。



午後の講義

- プラクティカルトレーニングを実施するためのプランニングシートの作成を学ぶ



それぞれのグループでプランニングシート
の作成

2グループに分かれて、テーマはオフサイ
ドで作成していただきました。

色々と中身の濃い内容の論議をされて
いました。



HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

熱い論議が繰り返されています！！



HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

プランニングシートにて発表を行っていただきました。

はじめてのプラクティカルトレーニングでしたが、上々のできだと思いました。

グッドです！！





プランニングとしては、どのように
プランを組み立て、デモンストレー
ターに動いてもらうのか？審判員
にエラーを起こさせるか発表してもら
いました。



HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE



一度、発表していただいたプランに別グループや講師・スタッフから意見などいただき、再考しました。

随分、理解度がより良くなってきました。



HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE

プランニングシートを作成後、実技を行い、ブラッシュアップを繰り返す作業になります。時間の関係でプランニングシート作成で終了となりました。



プラクティカルトレーニングは試合で起こる事象を切り取り、再現させて審判員がどのように判定できるか？繰り返し行うことでミスを起こしたときの指導を行うことになります。

プラクティカルトレーニング(審判の実技研修)における「仕込みから指導まで」の要約です。

仕込み（実践） 意図的なシミュレーション(絶妙な飛び出しなど)を実戦形式で行い、副審の見極め力やフラッグアップのタイミングをテストする。

引き出し（言語化） シミュレーション直後、副審役に「その瞬間、どう見えて、なぜその判定を下したのか」という主観的な根拠を言葉にさせる。

指導（改善） 引き出した言葉をもとに、「視野の置き方」や「ポジショニングの修正点」などの具体的な課題をフィードバックし、実践力へと昇華させる。



最後に



今回は、審判員として確かな実績を持つベテラン受講生4名をお迎えしての講習会となりました。

実技研修では、副審の判定プロセスや見え方の指導を行い、お互いの「判定の根拠」を深く問い直す、と同時に主審とのコミュニケーションを行うという、非常に濃度の高いセッションとなりました。

今回の講習会で得られた深い学びと貴重な経験を確かな糧とし、受講生の皆様には、今後とも後進の審判員たちの育成と指導において、その力を存分に発揮していただけることを強く期待いたします。



お疲れさまでした！！

HYOGO FOOTBALL ASSOCIATION REFEREES COMMITTEE